



金沢和傘

時代を超えて

二〇一七

二月四日【水】～二月二日【水】

(毎週木曜日は休館となります)

1階「ギャラリー」

2階「第3展示室・第4展示室」

午前9時～午後5時(最終日は午後4時まで)



金沢和傘 時代を超えて

持つ人を美しく見せる伝統の美「和傘」

奈良時代、中国から伝わったとされる「和傘」は、平安時代には日本独自の竹、和紙を使った日本の「和傘」が製造されるようになりました。一般への普及は江戸時代、庶民の間で番傘は安価でかつ丈夫という事で好んで使用され、一方色とりどりで細身の蛇の目傘は上流階級に使用されてきました。

明治の頃には金沢にも100軒以上の和傘屋がありましたが、藩政時代から、明治、大正、昭和と盛んに作られた「金沢和傘」は、洋傘の普及とともに店や職人は姿を消して行きました。現在は唯一軒残るのみとなりました。雨や雪の多いこの土地でも手入れが良ければ50年は使えるという丈夫さもさることながら、鮮やかな紋様と色彩が鈍色の空にパッと花を咲かせます。この度の展示では、石川県の伝統的工芸品として稀少なものとなってきている「金沢和傘」の制作工程をはじめ、松田弘さん、重樹さん親子の制作した100点余りの「金沢和傘」がコレクターからのご協力も得て一堂に展覧致します。

時代を超えて今、注目され多くの人に愛される「金沢和傘」

幾重にも開いた「金沢和傘」の華やかで趣のある世界をお楽しみ下さい。



女流作家8人のフォルム Les formes des 8 artistes féminines

日時：平成29年2月3日(金)～3月8日(水)

午前9時～午後5時(最終日は午後4時まで)

場所：1F ギャラリー 2F 第3展示室・第4展示室

石川県の伝統的工芸品の分野に新しい風を吹き込む

女性作家8人の作品展です。

2017年にそれぞれの作家が希いを託した

斬新で希望に満ちた作品の数々をお楽しみ下さい。

伝統工芸士による実演・体験の日程

1月	2月
7日(土) 金沢箔(体)	4日(土) 加賀獅子頭
8日(日) 金沢箔(体)	5日(日) 加賀獅子頭
14日(土) 郷土玩具	11日(土) 九谷焼
15日(日) 郷土玩具	12日(日) 九谷焼
21日(土) 加賀毛針	18日(土) 金沢漆器
22日(日) 加賀毛針	19日(日) 金沢漆器
28日(土) 加賀繡	25日(土) 金沢仏壇
29日(日) 加賀繡	26日(日) 金沢仏壇

実演時間：午前10時から午後3時まで
(正午から午後1時までには休憩)

実演場所：1階エントランスホール

※日程は変更となる場合がございます。
詳細は石川県立伝統産業工芸館まで
お問い合わせ下さい。

ご案内

■開館時間

午前9時～午後5時
(入館は午後4時45分まで)

■休館日

4月～11月 毎月第3木曜日
12月～3月 毎週木曜日および
年末・年始
(祝日の木曜日は除く)

■入場料

	1階：無料	2階	
		個人	団体(30名以上)
大人 18才以上		260円	200円
大人 65才以上		200円	200円
小人 17才以下		100円	80円

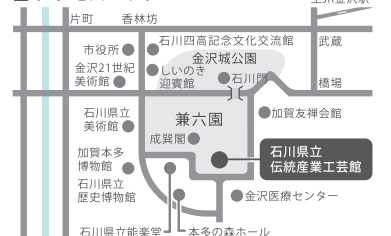
■交通案内

バス：JR金沢駅より北鉄バス小立野方面行きに乗車、約15分。
出羽町下車。徒歩1分。

タクシー：JR金沢駅から約15分。

車：北陸自動車道金沢東または金沢西インターから30分。
駐車場有(無料)

■アクセスマップ



石川県立伝統産業工芸館

Ishikawa Prefectural Museum of Traditional Arts and Crafts

石川県金沢市兼六町1番1号(成巽閣隣り) Tel/076-262-2020 Fax/076-262-8690 <http://www.ishikawa-densankan.jp>